



ボーイング社 チャールストン工場を訪問

アメリカ研修の3日目は、アメリカを代表する企業の一つであるボーイング社を訪問しました。私達の課題研究テーマである「女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクト」の為に、重要なプログラムの一つです。



[ボーイング社にて]



[ボーイング 787 系飛行機の組み立て工場]



ボーイング 787 系の模型が飾られていました。

【ボーイング社を訪問】

ボーイング社（The Boeing Company）はアメリカ合衆国にある世界最大の航空宇宙機器開発製造会社です。ここチャールストンにはボーイング787系の飛行機の最終組み立て工場があります。私たちはこの工場を見学しました。Ashley Hall 校の関係者の計らいで、今回は一般の方では見ることができない場所にも特別に入室を許可していただき見学することができました。

巨大な工場内は所謂工場のイメージを覆すもので、明るく整然としていてそこで働く作業員の方たちはラフな服装でヘルメットすらかぶっていません。現在6機の機体があり、ウイングやエンジンを取り付けていました。

アメリカの最新鋭の飛行機工場を見学して、改めて感じたことは日本の技術力の高さです。

787ドリームライナーでは主翼をはじめとする機体の35%を日本の三菱重工・川崎重工・富士重工の3社が開発・製造しています。現場で検査を担当されている日本人の技術者の方は、現地の方たちにとっても尊敬されていました。日本はまたボーイング社にとって大変重要な顧客です。製造する飛行機の20～30%は日本向けです。

●グローバル化を考える

私たちはこの工場見学で国境を越えたモノ作りや経済の実態の一端に触れることができました。また天然資源の乏しい日本の進むべき方向性についてより広い視野で考えることができました。

カヤックに乗って swamp の自然観察活動へ

4 日目はシーカヤックに乗って swamp の自然観察を行いました。また女性経営者の元を訪れ、話を聞く機会を持ちました。



[レクチャーを受けて準備万端]

【大自然の中でカヤック体験】

チャールストンは、西はアシュリー川（学校の名前の由来にもなっています）、東はクーパー川に挟まれています。二つの川は半島の先で合流し、その先の大西洋に注いでいます。その他にも川が沢山あり、各所に湿地（swamp）が広がっています。これらの湿地は貴重な動植物の宝庫となっています。ワニも生息しています。Ashley Hall 校の生徒たちは水族館と協力してウミガメの保護活動や湿地の保全活動に取り組んでいます。

今日は、Ashley Hall 校の理科の先生の説明を受けながら、シーカヤックで swamp をめぐりました。



[チャールストンの自然探訪]



[このあたりは汽水域]
野生のイルカやペリカンと出会いました。



[女性オーナーが経営するレストランにて]

【女性経営者を訪ねて】

4 日目には、女性経営者に話を聞く機会を持ちました。レストランを営むオーナーに、事業経営について沢山の事を教えていただきました。またそこで働く女性従業員の方たちにもお話を伺いました。